

グローバル・カフェ 留学報告イベント(西オーストラリア大学英語教育センター)を開催しました

2026 年 1 月 21 日 (水)、留学報告イベントを実施しました。これは 2025 年度前期に高度教養教育科目の Study Abroad を履修した学生による現地研修の報告です。履修学生は、夏休みに 5 週間、西オーストラリア大学英語教育センター (The University of Western Australia, Centre for English Language Teaching、以下、UWA CELT) で語学研修に参加しました。UWA CELT でのプログラムに参加した学生 5 名のうち、浅野仁美さん、高橋きいろさん、飛弾悠真さんの 3 名が報告しました。報告者に加え、学生 3 名 (うち 1 名オンライン参加)、教職員 2 名の計 8 名が参加しました。

3 名はパワーポイントを用い、写真を見せながら学校の授業カリキュラムやホームステイの様子、自由時間や観光などの体験について報告しました。学校では日本人ばかりか、日本人の多いクラスでしたが、参加者間で日本語を禁止していたそうです。習う英語は違うと思っていたけれど、実際に UWA CELT に行って、コミュニケーションで用いる英語は知っていることに気づいた、という声もありました。

ホームステイは家族によって雰囲気が違うようでした。「夕食後に 2 時間、家族やハウスメイトみんなで話す時間があつたので、最初は大変だったが、それで英語が話せるようになった (高橋)」「ホストファミリーと毎日生活する体験を通して親密になれてうれしかった (浅野)」と振り返っていました。最も印象に残ったこととして「人々とコミュニケーションがとれたことと、現地の人々のライフスタイルを知ることができてよかった。生活に余裕があつて、雰囲気がよかった (飛弾)」という声がありました。

また、もう 1 回行ってみたいスウィーツのお店や、観光で心に残る 4 つのスポットとして 1) クオッカに会えるロットネス島、2) コアラを抱っこできる Caversham Wildlife Park、3) 砂漠と星空を満喫したピナクルズ、4) 観光客だけでなく現地の人も楽しんでいたスカボロービーチ を美しい写真とともに紹介してくれました。

全ての報告者が、とても充実した 5 週間を過ごした様子が伝わる報告会でした。今回の留学を「経験だけで終わらせない」と締めくくりました。今は英語の勉強を続けて TOEIC を受検予定だったり、アルバイトで外国人との接客で英語を積極的に使ったりしているそうです。これからの成長も楽しみです。

